

## 【留学先】

私は韓国の光州にある全南大学校に約4か月間(9月から12月)、交換留学をしました。光州は韓国西南部の代表都市です。2年に一度「光州ビエナーレ」という芸術祭が開催される一方で、「光州学生事件」や「光州事件」に象徴される、「民主と人権を象徴する都市」として知られています。私が通った全南大学も民主化運動の原点として有名で、大学の敷地内には記念碑もあります。また、光州は食事が美味しくおかずも多く出されることから、「芸術の部、義の部、味の部」とも呼ばれています。

光州はソウルから高速バスで3時間、電車(KTX)で2時間のところにあり、仁川空港からは、高速バスで4時間かかります。また有名な釜山や大邱までは、光州から高速バスで3時間ほどで行けます。電車(KTX)は光州発のものが無いので、光州からどこかに行きたいときは高速バスや地下鉄、市内バスを利用して移動していました。韓国は公共交通機関を利用する際、交通カードという電子決済カードを使います。交通カードはコンビニや雑貨店に300円程度で売っており、チャージもコンビニでできます。光州は交通機関が多く、移動の面で不便に感じたことは特になかったです。



← 大学の敷地内にある  
民主化運動の記念碑

全南大学光州キャンパス

## 【留学の動機】

私は韓国文化が好きで、特に韓国ドラマを字幕なしで見ることができるようになりたいと感じ、大学入学前から交換留学制度を利用して韓国留学をしたいと考えていました。留学期間については就職活動が終わった後を勧められましたが、私は留学経験を就活の武器にしたいと考え、あえて就活前に留学を決めました。

## 【留学先での授業、勉強方法】

私は韓国語の授業を4つ履修し、各授業でハングルの基礎や実用的な韓国語を学びました。私は留学前に韓国語を勉強していたので、ハングルの基礎や簡単な会話程度ならできていました。しかし、正しい発音や文法を改めて一から学びたいと考えるとともに、友達作りのきっかけにもなると思い、あえて基礎レベルから履修をしました。勉強法については、毎日予習・復習をして

いました。教科書内の分からない単語を事前に調べておくことで、授業内容が理解しやすくなり、授業を受ける際の不安をなくすことができました。

私が語学勉強で一番効果を感じたのは、現地の友達と韓国語を使って話すことです。最初は正しい韓国語を話すことができず、自分の韓国語に自信がなかったので単語で会話をしていました。それでも諦めずに頑張って会話を続けていたら、自分でも知らないうちに会話ができるようになっていました。留学担当の方から言われた「下手でもいいから韓国語を使えば話せるようになる」という言葉は本当だったのだと、とても身に感じました。

全南大学には留学生を対象とした韓国語講座もありました。最初は受けようと考えていましたが、夜7時からであることや内容が韓国ドラマのセリフであることに興味がわかず、履修をやめました。実際に受けていた友達に講座の様子を聞いたところ、退屈で受けなければよかったと言っていました。

これは私が実際に履修していた授業です。月水金は50分授業、火木は75分授業でした。また、韓国の大学では同じ授業が週に2, 3回あります。

	月	火	水	木	金
月水金 9:00~9:50 火木 9:00~10:15					
10:00~10:50 10:30~11:45		韓国語 聞く話す3		韓国語 聞く話す3	
11:00~11:50 12:00~13:15					韓国語 聞く話す1
12:00~12:50 13:30~14:45		韓国語 読み書き2	韓国語 聞く話す1	韓国語 読み書き2	韓国語 聞く話す1
13:00~13:50 15:00~16:15	韓国語 聞く話す2		韓国語 聞く話す2		
14:00~14:50 16:30~17:45	韓国語 聞く話す2				

### 【留学先での日常生活（交友関係、学外活動、居住場所）】

光州女子高校に訪問させていただき、日本語を学習している生徒さんと交流しました。留学担当者から交流のお話をいただき、私を含め、全南大学の日本人留学生7人で訪問させていただきました。4つの日本語の授業を担当し、日本のプリクラとテーマパークについて、事前に作成したPPTを用いて発表しました。その後生徒さんたちとフリートークをし、事前に用意していただいた質問に答えました。全て韓国語での発表・会話だったのでとても緊張しましたが、生徒さんが盛り上げてくれたり、たまに翻訳機でコミュニケーションをつなげてくれたりしたおかげで楽しく過ごすことができました。

友好関係については、授業の先生に相談したところ、日本語学科の学生を紹介していただきました。男子学生が多かったです。このことをきっかけに多くの韓国人学生とつながることができ、

放課後一緒にご飯を食べたり出かけたりしました。韓国の学生はよく飲みに行くのでそこに誘ってもらったことが多かったですが、遊びに使えるお金が多くはなかったので断ることもありました。直接会って交流することが難しいときはグループ電話で交流する機会を設けてくれ、そこで勉強のわからないところを質問したり、逆に学生が日本語の勉強でわからないところを質問してくれたりしました。

私は大学の学生寮(2人部屋)で生活をしました。食事については、学生寮の食堂を平日1日2食で契約し、休日は外食をしたり出前をしたりしていました。1日3食のプランと迷っていましたが、朝は遅くまで寝ていたので1日2食のプランでよかったですと感じます。また食べ物は辛いものが多いため、苦手な人は学食のプランは契約せず、自分で食べる方法がいいと思います。

全南大学では留学生対象のイベントが多く、例えば無料バスツアーやカフェで使えるクーポンの配布です。留学中は金銭面や時間の面で制限が多かったですが、大学側の援助が豊富でプライベートを充実できました。



光州女子高校の生徒さんたちとフリーストーク



日本語学科の友達と誕生日パーティー



学生寮2人部屋

左上：  
シャワーとトイレ  
右上：  
共用の洗濯乾燥機

### 【留学先で学んだこと、語学力の向上度】

母国語以外の言語を学ぶことはとても難しく、実際に現地の文化や社会も感じながら学ぶことが非常に良いと学びました。実際に韓国で語学を勉強するようになり、日本で勉強していた時よりもはるかに効率よく能力が上がったと感じます。それは、韓国語を話さざる負えない環境によって周りに学習要素があふれていたことや、現地の文化・社会を直接体験することによって、本当に必要な語学能力を見極めることができたためであると思います。留学前に勉強していたため、正直話せるだろうと考えていましたが、実際に現地で話してみると全く分からず自分の実力のな



さを感じさせられました。しかし、現地の友人と会話ができるまでに成長することができました。まだ聞き取れない部分や話せない部分も多くありますが、留学前の自分よりは確実に成長できたと感じます。

### 【留学を通じて得られた成果】

一番成果を感じた部分は人との関わり方です。留学前の私は何か困ったことがあっても人に頼ることが苦手でした。しかし、留学中は困難が多く、誰かに頼らざる負えない場面が多かったです。その時に、国籍関係なく、思い切りたくさん友人に頼ってみた結果、一人で抱え込まず頼ることの大切さを学ぶとともに、「助け合い」という言葉の意味を改めて実感しました。また、留学中は多くの外国の方と関わる機会が多く、頑張っ韓国語で会話をしようと積極的に取り組んだおかげで、自分自身の性格がより明るくなったとも感じます。

さらに、留学を通して自分に自信がつけました。韓国に到着してすぐは、言葉や文化などが分からないところでの生活に対して不安ばかりでした。しかし、先ほど書いたように友人に頼ったり、あらゆる場所で翻訳機を使ったりなど自分で何とか乗り越えたおかげで、自分が困難に対して立ち向かえる力があると感じ、自信につながりました。



特にお世話になった日本語学科の友達

### 【現地での苦労話、トラブル】

韓国で携帯電話を使用するために、大学の敷地内にある携帯ショップで韓国のSIMカードを購入しました。最初に携帯ショップに行ったとき、私の携帯が海外SIMカードを入れる機能にロックがかかっていたため、その日に契約することができませんでした。そのため、日本で契約している携帯ショップに何度も電話をし、そのロックを外してもらってから、もう一度携帯ショップに行きました。留学前に自分の携帯にロックがかかっているか確認しておけばよかったととても後悔しました。

### 【奨学金について】

私は2つの奨学金を利用しました。1つ目は県大の補助金です。交通費や寮費、ビザ申請費などの費用の半分を補助していただきました。全て帰国後に半分の額が振り込まれますが、すべて領収書や明細書が必要だったので、忘れずに保管しておくことが大切です。2つ目福井県グローバル人材基金です。約月5万円×留学期間分の奨学金を利用でき、大学卒業後3年間福井に本社がある企業か福井県の公務員として勤めれば返済免除になります。もし福井での就職を希望して

いる方であればぜひ利用してほしいです。

2つの奨学金合わせて約30万円の補助金をいただきましたが、正直足りませんでした。留学前に寮・食堂費、飛行機代、海外保険料などを支払うためほとんど残りません。1年ほど前から計画的にアルバイトをして、十分な資金を準備すればよかったと後悔しています。

### 【留学後におけるプランについて（留学の成果をどのように活かしていくか、就職についてどのように考えているか）】

留学に行った経験を就職活動の武器にしたいです。留学で学んだ言語や、人との関わり方の変化、多くの外国人との交流経験を自分の強みとして就職先にアピールしたいです。また、何か新しい機会があれば迷うことなく挑戦したいです。私は留学に挑戦し、その達成感や自分自身の変化を感じるとともに、自分が日頃たくさんの人に支えられているということに気づかされました。このように、新しいことに挑戦することでしか得られない経験は必ずあります。これから挑戦したいことを見つけたら、その時も迷わず挑戦し、新しい経験をしたいです。さらに、韓国に留学・旅行に行かれる方がいたら私の留学経験から、よりよい韓国生活を送れるお手伝いが出来たらと思います。



大学以内の秋の様子



大学内の冬の様子



学祭やイベントの様子